

広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	エコーガイド下での鎖骨下静脈経由と内頸静脈経由の CV ポート造設術の比較検討
研究責任者 (所属科名)	石川 雅基 (放射線診断科)
本研究の目的・意義	<p>目的：エコーガイド下での鎖骨下静脈経由と内頸静脈経由の皮下植え込み型中心静脈ポート (Subcutaneous Central Venous Porta、以下 CV ポート) 造設術の現況に関して比較検討します。</p> <p>意義：当院で施行されたエコーガイド下の鎖骨下静脈経由及び内頸静脈経由の CV ポート造設術を比較することで、どちらの経路がより安全性が高いか、手技の効率性が高いかを明らかにします。また、カテーテル損傷とカテーテル挿入部位との関連や、カテーテル先端位置と合併症との関連について検討することで、今後どうすれば合併症予防につながるかを明らかにします。</p>
調査方法・研究期間	<p>後ろ向き観察研究</p> <p>データ収集期間：2020年1月～2023年6月</p> <p>研究期間：2024年8月までを予定しています。</p>
該当資料・データ	<p>★対象となる患者様</p> <p>当院の放射線診断科で2020年10月～2023年6月までに CV ポート造設術を施行した方と、外科で2020年1月～2022年12月までに CV ポート造設術を施行した方で、鎖骨下静脈または内頸静脈を経由した症例。</p> <p>★利用する情報</p> <p>電子カルテに記載のある下記の診療記録、検査データを利用します。</p> <p>年齢、性別、原疾患、造設目的 (化学療法目的、栄養療法目的、その他)、ポート留置部位 (鎖骨下静脈、内頸静脈)、執刀医、手技時間、早期合併症、晚期合併症、カテーテル開存期間 (造設日～逆血の確認とフラッシュが最終的に行われた日)。</p>

<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>本研究において得られたデータは個人情報が解らない形で使用いたします。その方法などは、個人情報管理責任者（放射線診断科 医師 滝本 龍）により管理され、個人情報を削除した状態のデータのみを収集し解析します。個人情報管理責任者は外部とは独立したパーソナルコンピューターで管理し、本人のみが知るパスワードを設定し、コンピューターをセキュリティーの厳重な部屋に保管することにより、情報の漏洩に対する安全対策を講じます。研究で使用する情報は当院の中のみで解析・集計を行い、外部へ提供することがございません。また、研究結果の報告、発表に関しては個人が特定できる情報は公開しません。</p>
<p>共同研究機関</p>	<p>なし</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>電話：082-815-5211（代表） 担当者：滝本 龍（放射線診断科：医師）</p>
<p>備考</p>	<p></p>